

# 土曜日の教育活動支援に関する資料

●  
平成25年12月26日

文部科学省 生涯学習政策局



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,

SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

# 論点

## 2. 実社会で役立つ力の育成に向けた 土曜日の教育支援の在り方について

- (1) 学校や土曜日の教育活動への企業・団体の参画や  
連携の在り方
- (2) 土曜日ならではの特有なプログラムの在り方

# **(1)学校や土曜日の教育活動への企業・団体の 参画や連携の在り方**

# 文部科学省「土曜授業に関する検討チーム」における検討結果について ① (中間まとめ(平成25年6月28日)・最終まとめ(同年9月30日))

## (1) 学校週5日制の趣旨

- **学校週5日制は**, 学校・家庭・地域の三者が互いに連携し, 役割分担しながら社会全体として子供を育てるという基本理念の下, **平成4年9月からの段階的实施を経て, 平成14年度から完全実施**。

(これまでの経緯等)

・昭和61年4月	臨時教育審議会(第2次答申)において提言
・平成4年9月	月1回の学校週5日制実施
・平成7年4月	月2回の学校週5日制実施
・平成14年4月	<b>完全学校週5日制実施</b>

## (2) 土曜授業の実施をめぐる動き

- **公立学校の休業日**については, **学校教育法施行規則で規定**。ただし, 「特別の必要がある場合は, この限りでない」。

### ■学校教育法施行規則(抄)

第六十一条 **公立小学校における休業日は, 次のとおりとする**。ただし, 第三号に掲げる日を除き, **特別の必要がある場合は, この限りでない**。

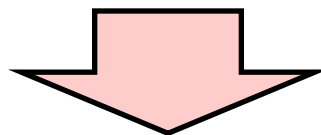
- 一 国民の祝日に関する法律(昭和二十三年法律第百七十八号)に規定する日
- 二 日曜日及び**土曜日**
- 三 学校教育法施行令第二十九条の規定により教育委員会が定める日 (※中学校, 高等学校等においても同様)

- 近年, 一部の地域では授業時数の増加や, 保護者や地域に開かれた学校づくりの観点から, **設置者の判断により, 土曜日に授業を行う学校も見られる**。
- **民間の世論調査等**において, **土曜授業の実施に対して高い支持**。
- 土曜日を必ずしも有意義に過ごせていない子供たちも少なからず存在するとの指摘。

# 文部科学省「土曜授業に関する検討チーム」における検討結果について② (中間まとめ(平成25年6月28日)・最終まとめ(同年9月30日))

## (3) 土曜授業の実施に関する基本的方向

- 子供たちの成長にとって、土曜日をこれまで以上に充実したものとすることが肝要。このため、学校・家庭・地域の三者が連携し役割分担しながら、学校における授業、地域における多様な学習や体験活動の機会の充実などに取り組むべき。
- 「土曜授業」については、学校において子供たちに土曜日における充実した学習機会を提供する方策の一つとして捉え、その推進を図る。



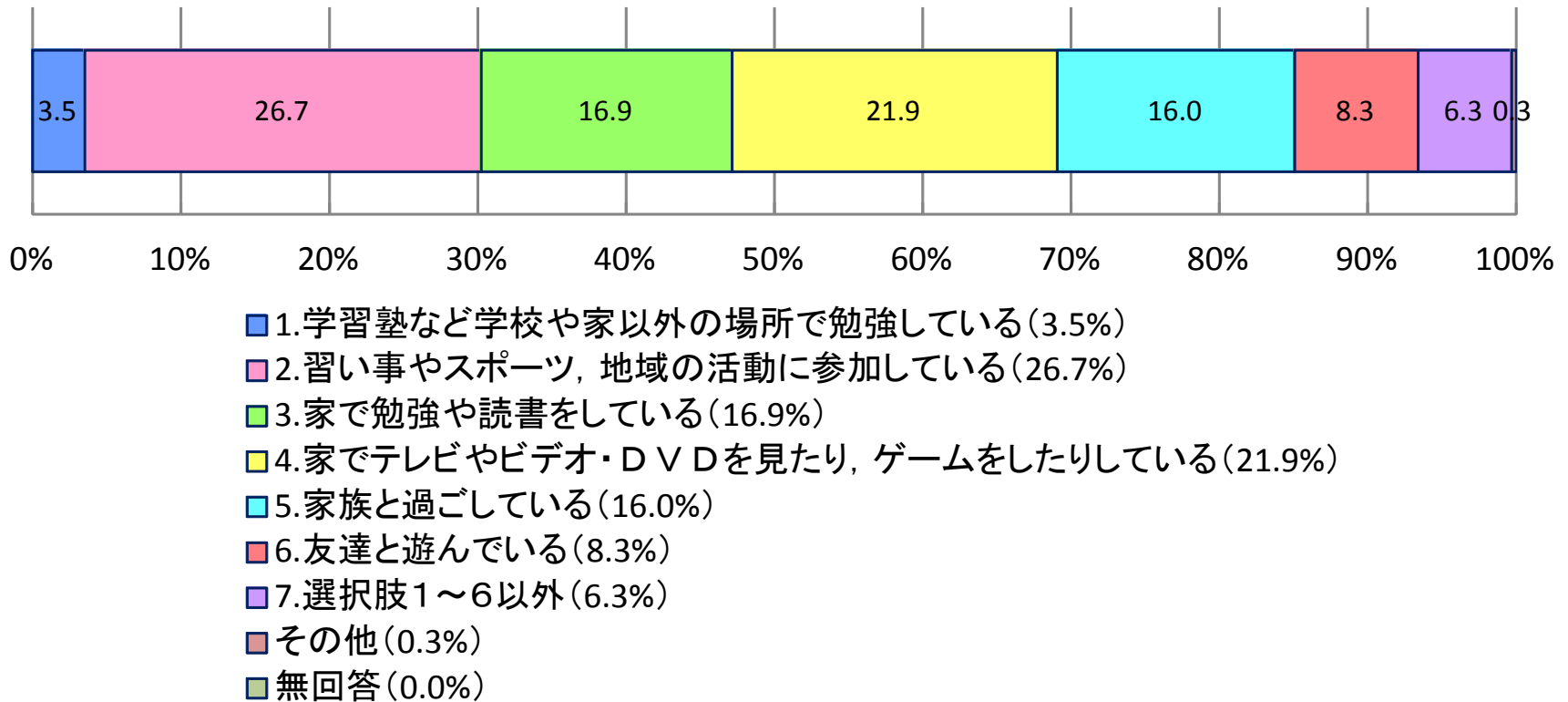
- まずは、設置者の判断により、これまで以上に土曜授業に取り組みやすくなるよう、学校教育法施行規則の改正等を行う。
- あわせて、土曜授業や、地域における土曜日の学習、体験活動等の場づくりの取組に対する支援を充実する。
- 全国一律での土曜授業の制度化は、今後、教育課程全体の在り方の中で検討。

# 児童生徒の土曜日の過ごし方について①

(平成25年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙より)

## 小学校

土曜日の午前は、何をして過ごすことが多いですか

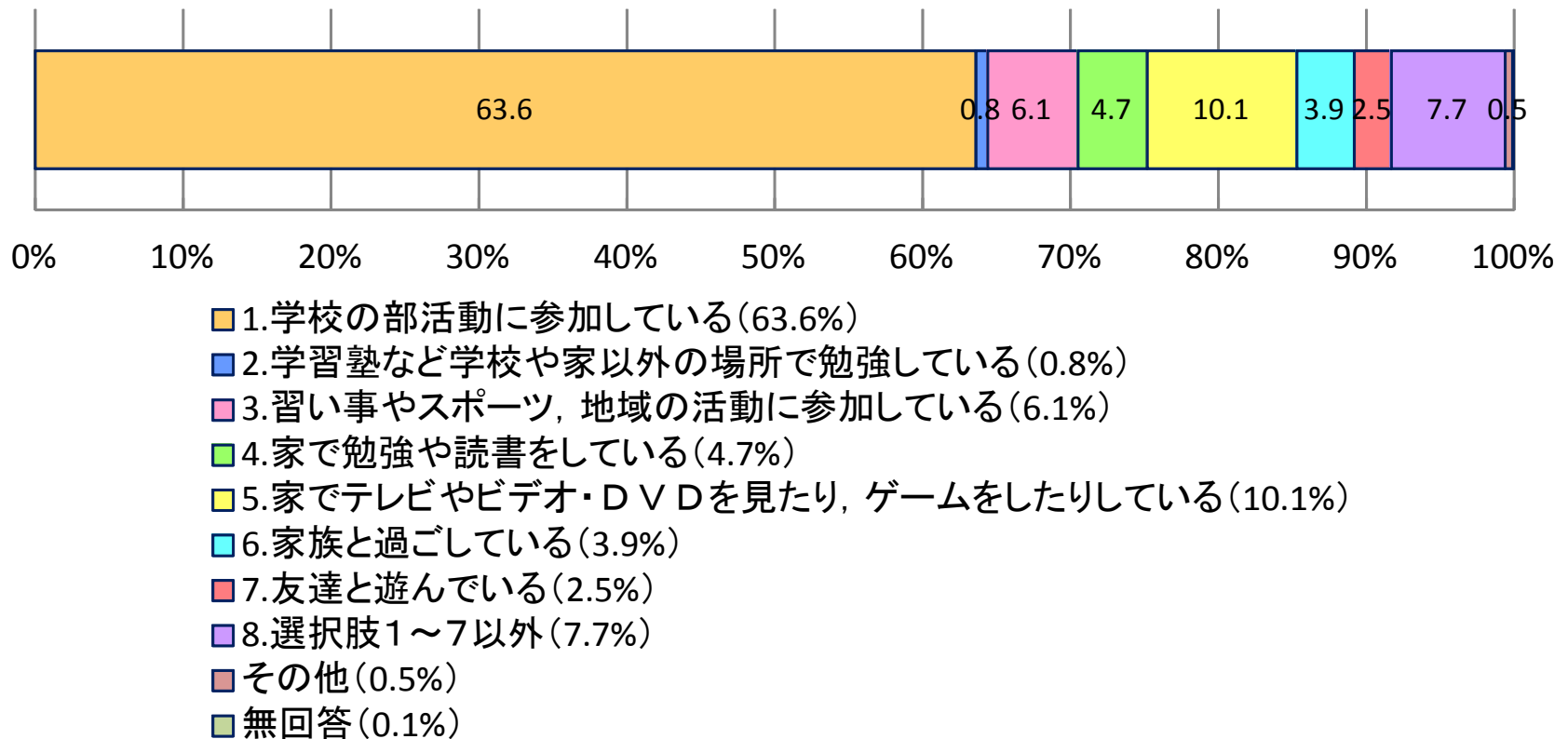


# 児童生徒の土曜日の過ごし方について②

(平成25年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙より)

## 中学校

### 土曜日の午前は、何をして過ごすことが多いですか

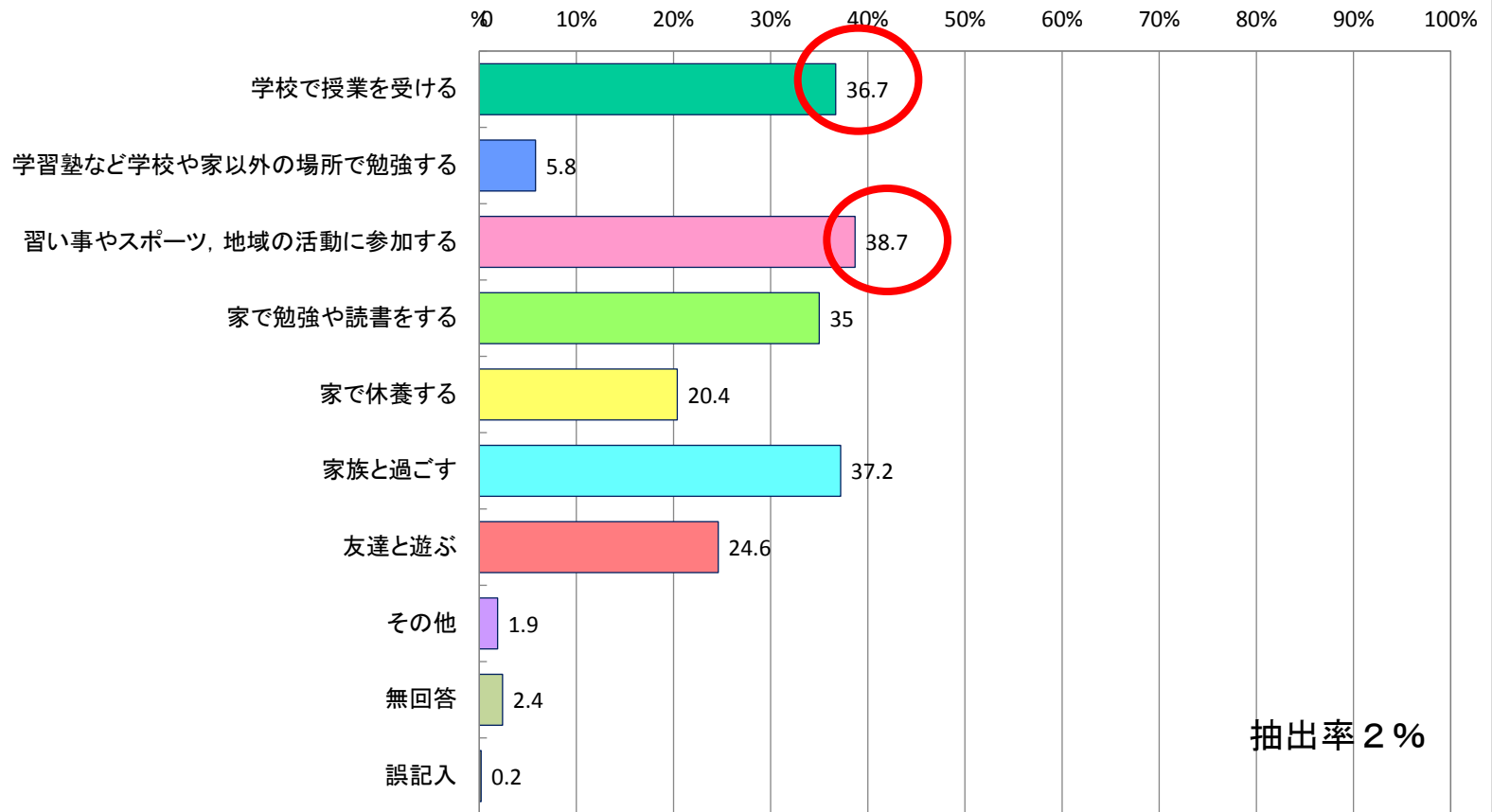


# 児童生徒の土曜日の過ごし方について③

(平成25年度全国学力・学習状況調査 保護者に対する調査より)

## 小学校

お子さんに、土曜日にどのような過ごし方をしてほしいと思いますか(午前)(複数回答)



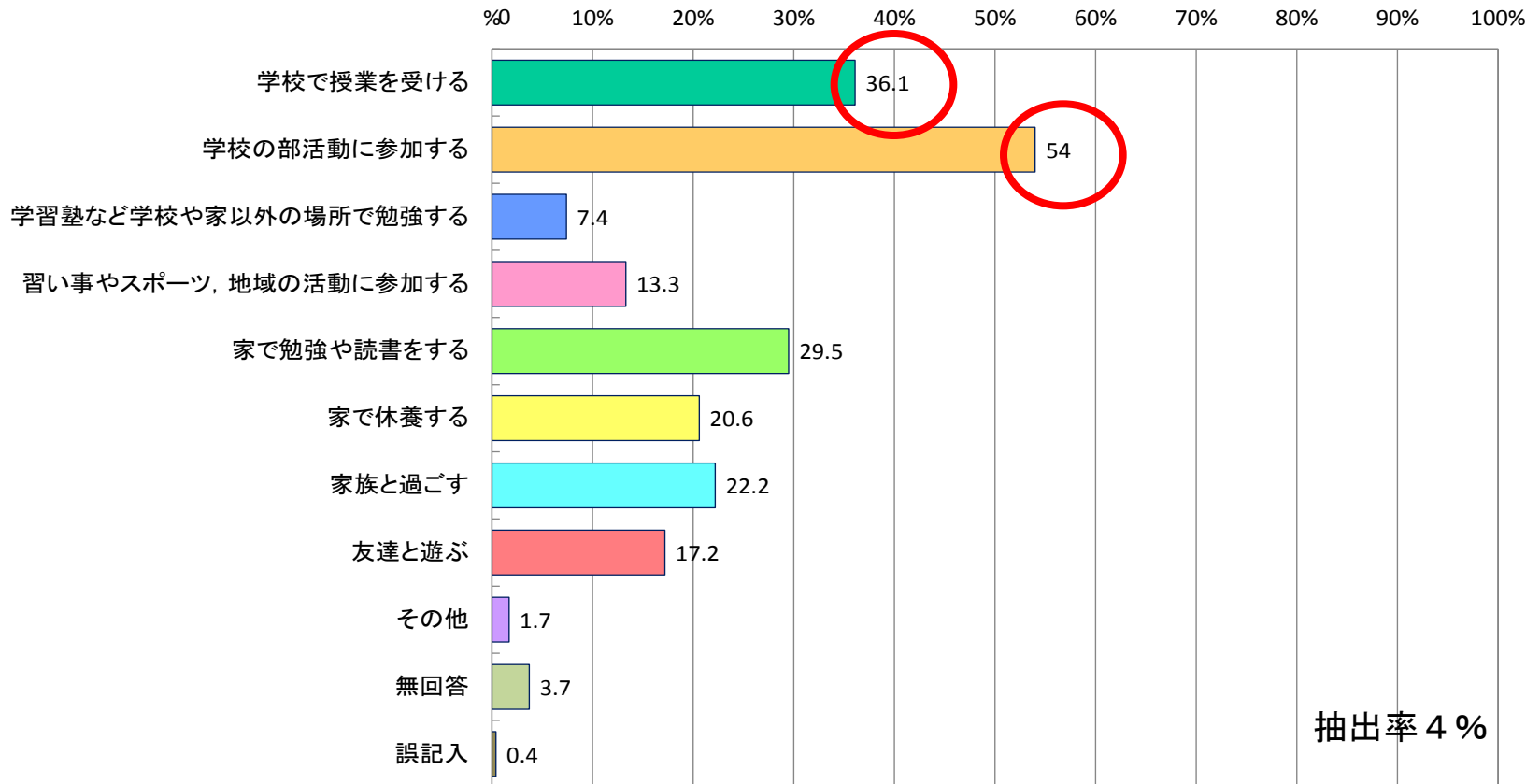


# 児童生徒の土曜日の過ごし方について④

(平成25年度全国学力・学習状況調査 保護者に対する調査より)

## 中学校

お子さんに、土曜日にどのような過ごし方をしてほしいと思いますか(午前)(複数回答)

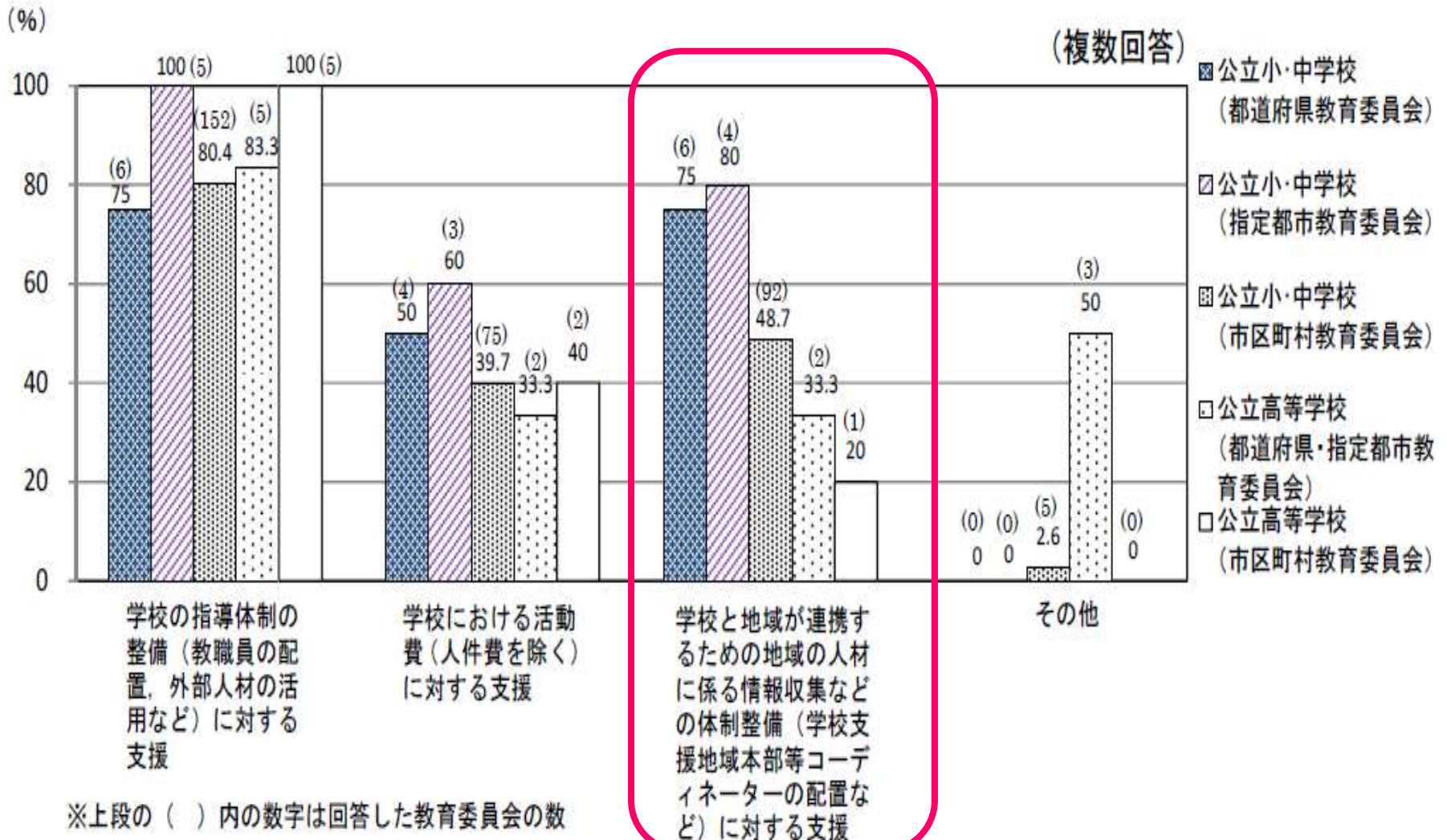


# 土曜授業の実施のために必要な支援策

(公立小・中・高等学校における土曜授業等に関する調査)

## 土曜授業を実施するために**必要な支援策**

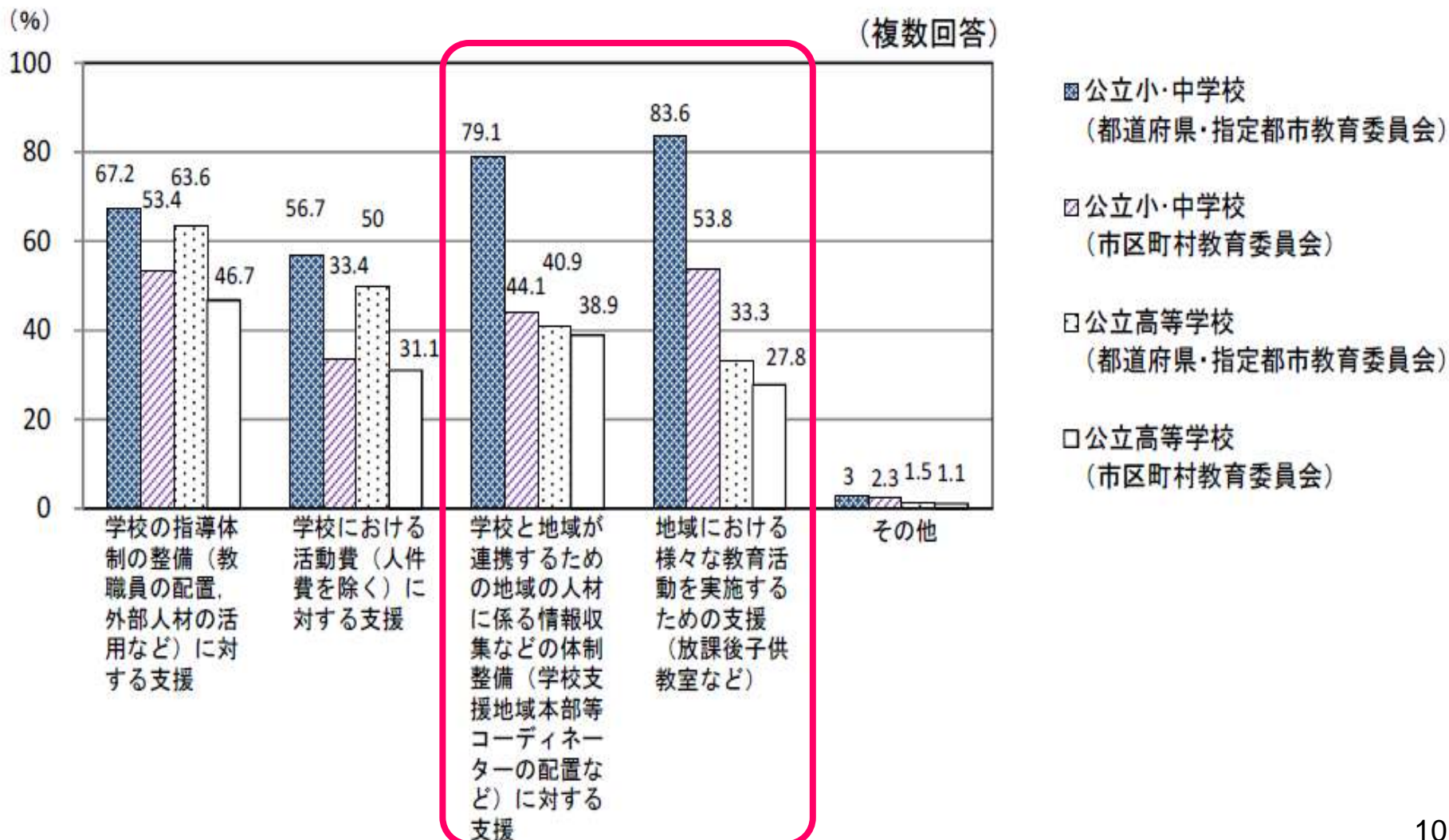
(土曜授業を実施する必要があると回答した教育委員会の回答)



# 土曜日等の多様な学習・体験活動の提供に必要な支援策

(公立小・中・高等学校における土曜授業等に関する調査)

土曜日等に学校や地域において、希望者に対する多様な学習や体験活動の機会を提供するために必要な支援策

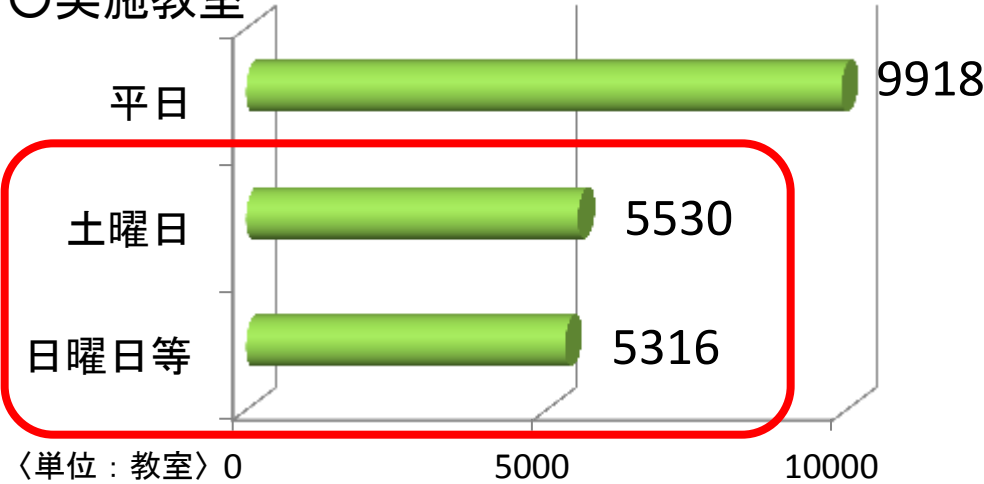


# 平成25年度 放課後子供教室の実施状況①

## 【年間実施教室数】

※平成25年度実施状況  
(H25.10現在)

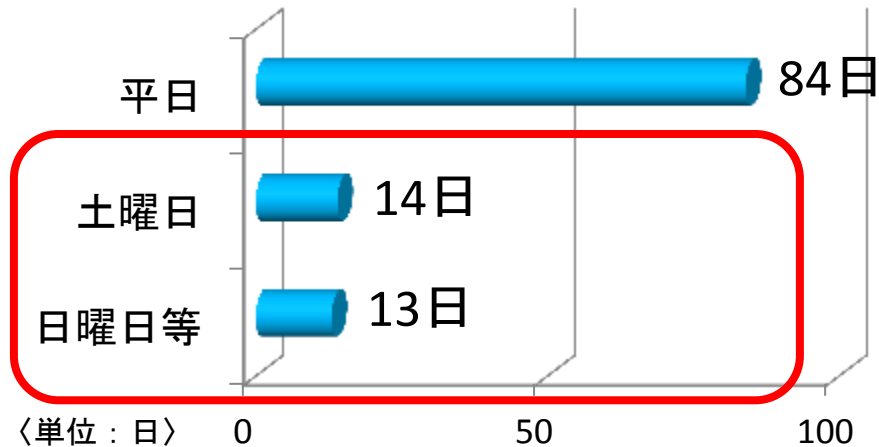
○実施教室



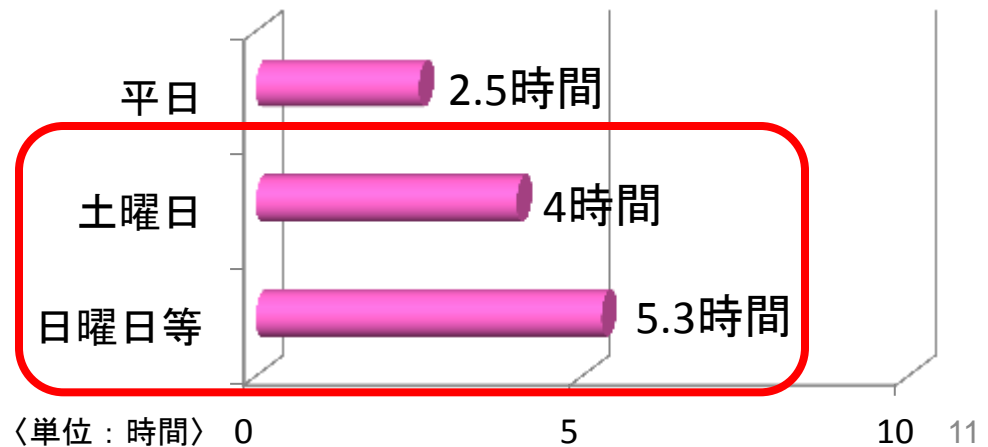
	全体	うち 平日	うち 土曜日	うち 日曜等
実施教室	10,376	9,918	5,530	5,316
実施割合	—	96.6%	53.9%	51.8%

## 【年間実施日数および実施時間数(全国平均)】

○実施日数



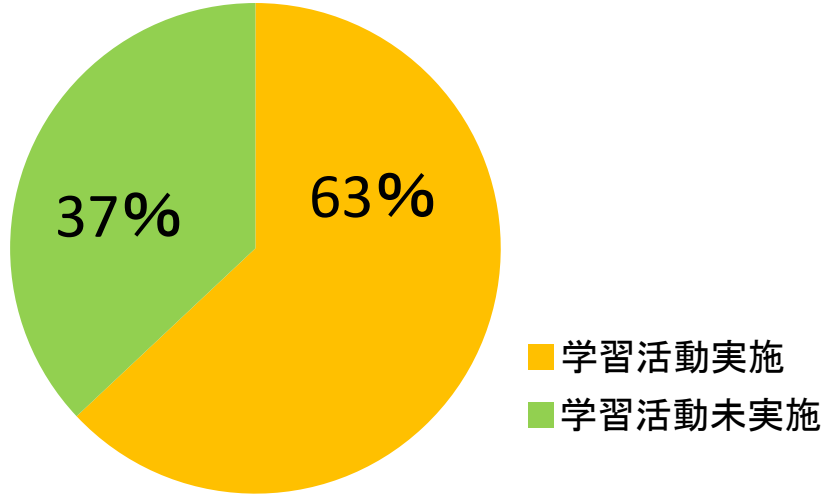
○実施時間数



# 平成25年度 放課後子供教室の実施状況②

## 【学習活動の実施状況】

○全体(総数:10,376教室)

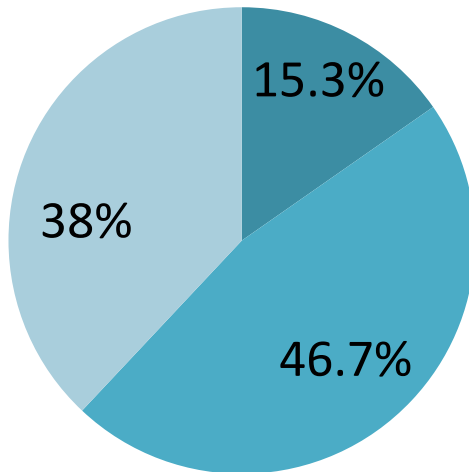


### 実施日における学習活動の実施状況

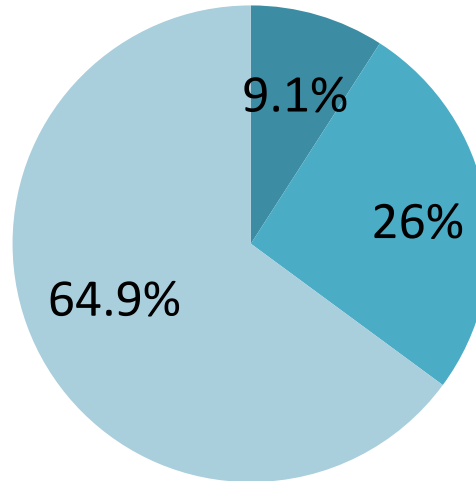
	補習等	自主学习	学習活動未実施	計
平日	1,514	4,631	3,773	9,918
土曜日	502	1,440	3,588	5,530
日曜等	709	1,757	2,850	5,316

〈単位：教室〉

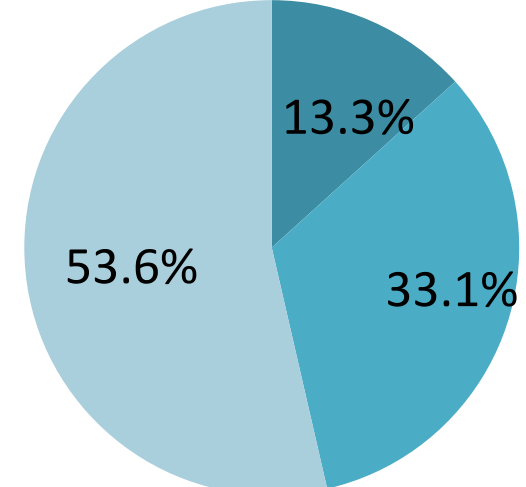
○平日(総数:9,918教室)



○土曜日(総数:5,530教室)



○日曜等(総数:5,316教室)



■ 学習活動(補習等) ■ 学習活動(自主学习) ■ 学習活動未実施



# 学校支援地域本部の実施状況

※平成25年度交付決定ベース  
(H25.8)

## 【学校支援地域本部に関わるボランティア状況】

コーディネーター

- 約8,300人
- 1学校あたり平均人数：1人
- 1本部あたり平均人数：2人

教育活動サポーター

- 約27,000人
- 1学校あたり平均人数：3人
- 1本部あたり平均人数：8人

教育活動推進員

- 約30,000人
- 1学校あたり平均人数：3人
- 1本部あたり平均人数：9人

その他無償ボランティア

- 約115万人
- 1学校あたりの平均人数：133人
- 1本部あたりの平均人数：326人

## 【学校支援地域本部における活動の実施校割合】 N=8,654 (学校支援地域本部を実施している公立小中学校数)

### ○学習支援活動

授業の補助

75%

放課後学習支援

18%

土日等学習支援

15%

0 20 40 60 80 100

### ○学習支援以外の活動

学校行事参加・補助

61%

部活動指導

25%

環境整備

70%

登下校安全指導

59%

0 20 40 60 80 100

# 土曜授業の実施に係る学校教育法施行規則の一部改正について

## 1. 改正の背景・趣旨

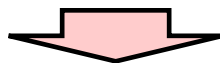
- 土曜日において、子供たちに、これまで以上に豊かな教育環境を提供し、その成長を支えることが重要。そのためは、学校、家庭、地域が連携し、役割分担しながら、学校における授業や地域における多様な学習、文化やスポーツ、体験活動等の機会の充実に取り組むことが重要。
- 上記のような観点から、子供たちに土曜日における充実した学習機会を提供する方策の一つとして土曜授業を捉え、設置者の判断により、土曜授業を行うことが可能であることをより明確化するため、学校教育法施行規則を改正。(平成25年11月29日公布・施行)

## 2. 主な改正内容

### 【改正前】

- 公立学校の休業日については、学校教育法施行規則で以下の通り規定。

- 第六十一条 公立小学校における休業日は、次のとおりとする。ただし、第三号に掲げる日を除き、特別の必要がある場合は、この限りでない。
- 一 国民の祝日に関する法律(昭和三十二年法律第百七十八号)に規定する日
  - 二 日曜日及び土曜日
  - 三 学校教育法施行令第二十九条の規定により教育委員会が定める日
- (※中学校、高等学校等においても同様)



### 【改正後】

- 公立学校において、当該学校を設置する地方公共団体の教育委員会等が必要と認める場合は、土曜日等に授業を実施することが可能であることを明確化。

- 第六十一条 公立小学校における休業日は、次のとおりとする。ただし、第三号に掲げる日を除き、当該学校を設置する地方公共団体の教育委員会が必要と認める場合は、この限りでない。
- 一～三 (略)
- (※中学校、高等学校等においても同様)

# 土曜日の教育活動について

子供たちの健やかな成長のためには、土曜日の教育環境を豊かなものにする必要がありますが、土曜日の教育活動については、その実施主体や扱う内容等により、幾つかの形態に整理できます。

## ① 「土曜授業」について

そうした形態のうちの一つが、児童生徒の代休日を設けずに、土曜日を活用して教育課程内の学校教育活動を行う「土曜授業」です(下図①)。文部科学省では、設置者の判断により、「土曜授業」を行うことが可能であることを明確化するため、11月29日に学校教育法施行規則の改正を行いました。

## ② 「土曜の課外授業」について

このほか、学校が主体となった教育活動ではあるものの、希望者を対象として学習等の機会の提供を行うなど、教育課程外の学校教育を行う「土曜の課外授業」とも呼ぶべき形態があります(下図②)。

## ③+④ 「土曜学習」について

また、教育委員会など学校以外の者が主体となって、希望者に対して学習等の機会の行う「土曜学習」とも呼ぶべき形態があります。この「土曜学習」については、主体が公的なもの(下図③)と、主体が公的でないもの(下図④)があります。

例えば、大分県豊後高田市教育委員会が実施している「学びの21世紀塾」の取組は、下図③に該当します。

### <土曜日の教育活動について>

主体が公的なもの(学校・教育委員会等)		主体が公的でないもの(NPO等)
③ 教育委員会等の管理下		④ NPO等による民間活動
教育課程内の学校教育 ① 「土曜授業」	教育課程外の学校教育 ② 「土曜の課外授業」	
「土曜学習」		

文部科学省としては、「土曜授業」や、「土曜の課外授業」、「土曜学習」の機会の充実等により、総合的な観点から子供たちの土曜日の教育環境の充実に取り組むことが重要であり、その振興に取り組んでいきたいと考えています。



# 土曜日の教育活動推進プロジェクト①

## ～地域や企業の支援による教育力の向上～

### ＜土曜日の教育活動推進に向けた具体的方策＞

1. 学校教育法施行規則の改正
2. 土曜日教育ボランティア運動の推進
3. 土曜の教育活動推進プラン(平成26年度予算案)の着実な実施

## 1. 土曜授業の実施に係る学校教育法施行規則の一部改正

- 子供たちに、土曜日における充実した学習機会を提供する方策の一つとして土曜授業を捉え、設置者の判断により、土曜授業を行うことが可能であることをより明確化するため、学校教育法施行規則を改正。

## 2. 土曜日教育ボランティア運動の推進

- 官民の連携によって、「土曜日教育ボランティア運動」を推進することで、子供たちにとって、より豊かで有意義な土曜日を実現。教育ボランティアへの参加者も、これまで学んだ成果を生かす自己実現の機会に。

土曜日教育ボランティア応援団の設置  
(多様な賛同企業・団体で構成)



土曜日教育ボランティア推進本部の設置  
(文部科学省) 本部長：文部科学大臣

連携協力

大臣以下  
職員による  
率先実行!!

### ＜今後の主な取組＞

- (企業等と連携) ・ 賛同企業・団体等の協力による土曜日学習会など出前授業等の推進・普及啓発
- ・ 特設HP開設(企業・団体等の出前事業、学校や地域、PTA、おやじの会等の事例掲載)  
\* 学校・教育委員会と企業・団体とをつなぐマッチングも実施予定
- (文科省) ・ 文部科学大臣が教える土曜日学習会(12月14日(土)板橋区立成増小学校で開催)
- ・ 文部科学省職員によるボランティア参画の促進(事前研修やフィードバック)

# 土曜日の教育活動推進プロジェクト②

## ～地域や企業の支援による教育力の向上～

25.11.29報道発表  
25.12.24時点更新

### 3. 土曜日の教育活動推進プラン（平成26年度予算案）の着実な実施

#### ①学校における質の高い土曜授業の推進のための支援策

##### 土曜授業推進事業（1億円）

○質の高い土曜授業を推進するため、効果的なカリキュラムの開発、特別非常勤講師や外部人材、民間事業者等の活用を支援するとともに、その成果を普及。＜委託事業：全国約35地域(約175校程度)をモデル地域として指定＞

#### ②地域社会や産業界と連携した土曜日の教育活動の充実のための支援策

##### 地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業（13億円）

○土曜教育コーディネーターや土曜教育推進員（企業人（現役・退職された方）や、公務員、研究者、在外経験者等多様な人材を想定）を配置し、年間10回程度の体系的・継続的プログラムの実施を通じて、土曜日の教育支援体制等を構築  
＜補助事業：小学校3,000校区、中学校1,500校区、高等学校等350校区＞

### ～これらの取組を着実に実施していくために～

#### ＜土曜日の教育活動の円滑な実施のためのアドバイザーの委嘱＞

- 土曜教育コーディネーターを対象とした、産業界との協働による研修会の企画・立案
- 効果的な取組の実践や、学校や企業等のマッチングに関する指導・助言
  - ・学校と地域社会や産業界等との連携、企業ボランティア参画のための仕組みづくり
  - ・土曜日ならではの効果的なプログラムづくり 等

#### ＜文部科学省職員によるボランティア参画の促進＞

- 土曜日の教育活動の推進のため、文部科学省職員によるボランティア参画を促進
- 教職経験のある職員による「教え方講座」など、事前研修やフィードバック

# 「土曜日教育ボランティア運動」について

## ～土曜日は学校へ！ 子供の学びを皆で支えよう！～（仮称）

- 社会総掛かりでの土曜日教育を全ての学校で実現することを目指し、土曜日教育ボランティア賛同企業等から成る「土曜日教育ボランティア応援団」を立ち上げ！
- 文部科学省に設置する「土曜日教育ボランティア推進本部」と連携し、官民協働で「土曜日教育ボランティア運動」として広報啓発等を総合的に展開し、強かに推進！

### 土曜日教育ボランティア推進本部 （文部科学省）

本部長：文部科学大臣（設置予定）

- ・ 全国の教育委員会、教育関係者への普及啓発・シンボルマーク募集等
- ・ 「地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業」を通じた取組の推進
- ・ 効果的な事例等のHPを通じた情報発信

連携



協力



### 土曜日教育ボランティア応援団 （多様な賛同企業で構成）

- ・ 関連企業、従業員等への運動の働きかけ
- ・ CSRの一環として従業員の教育ボランティアを奨励する環境づくり
- ・ 教育ボランティアを通じたワークライフバランスの実現や積極的な社会参画の推進
- ・ 機関誌、広告等でのシンボルマーク使用、顧客、国民への呼びかけ協力

## 「土曜日教育ボランティア運動」の広報啓発・運動の推進

### ～土曜日は学校へ！ 子供の学びを皆で支えよう！～（仮称）

平成26年度概算要求中

### 土曜日の子供たちの豊かな教育環境の実現

＜企業との連携による土曜日教育の量的・質的充実＞

（実施例）

- 技術者による使える算数・数学講座
- 研究員による科学実験教室
- 企業との連携による商品開発体験
- 在外経験者による外国語講座
- 卒業生によるキャリア教育



相乗



効果

### 個人・企業・社会へのメリット

豊かなライフスタイルの実現

長期的な企業価値の向上

個人（従業員）

企業等

経済・教育



経済・教育の再生、活性化に貢献



# 土曜日学習会 『下村文部科学大臣と一緒に学ぼう』



大臣の質問に元気よく手を上げる子供たち

子供たちの元気な挨拶から始まった学習会では、まず算数の問題を取り上げました。この問題は、「全国学力・学習状況調査(小学6年生対象)」と「OECD生徒の学習到達度調査(PISA)(15歳対象)」において正答率の低い問題でしたが、ほとんどの児童が正解をすることができました。



「将来の夢に向かって努力していますか？」

平成25年12月14日(土)、東京都板橋区立成増小学校において下村文部科学大臣が教壇に立ち、集まった小学5年生35人を前に、算数を中心とした土曜日学習会を行いました。これは、11月に発表した「土曜日の教育活動推進プロジェクト」のキックオフとして行われた学習会です。



算数の問題にチャレンジ！みんな真剣！

その後、下村大臣は、将来の夢を抱くことやそのために努力することの大切さについて子供たちに語りかけました。参加した子供たちからは、「緊張したけど楽しかった」、「土曜日に授業を受けたら成績が上がるかな」などの感想があり、子供たちには一生の思い出となる学習会となりました。







学校・地域の方々との意見交換会

学習会終了後、学校や地域の方々との意見交換を行い、土曜日の教育活動の在り方について今後の課題や展望などの意見交換を行いました。

今回の学習会を契機に、文部科学省職員の土曜日の教育活動への参画や、全国各地でも土曜日の教育活動が活発に行われるよう、省をあげて積極的に取り組んでまいります。

#### ◆成増小学校支援地域本部について

成増小学校は、平成14年から「学校開放協力会」による地域クラブ「いきいき寺子屋」を発足しており、平成20年度から、学校支援地域本部を地域に先駆けて実施。

今回の学習会は、同本部の協力の下、実施したもの。なお、同本部は、平成25年度の優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰を受賞。

□平成25年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる大臣表彰について

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/25/11/1341549.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/25/11/1341549.htm)

□成増小学校支援地域本部について

<http://www.narimasu.gr.jp/>

## 土曜日の教育活動推進プロジェクト

地域や企業の協力を得て、子供たちの土曜日の豊かな教育環境の実現に向けた取組を推進するプロジェクト(平成25年11月発表)。

- ①設置者の判断により、土曜授業を行うことが可能であることをより明確化するため、学校教育法施行規則を一部改正
- ②官民連携により、多様な賛同企業・団体の協力による応援団を組織して、出前授業等を行っていく「土曜日教育 ボランティア運動」を推進
- ③学校における質の高い土曜授業の推進のための「土曜授業推進事業」や、地域社会や産業界と連携した土曜日の教育活動の充実のための「地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業」を新たに概算要求中
  - 土曜日の教育活動推進プロジェクトについて → [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/doyou/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doyou/index.htm)
  - 学校・家庭・地域の連携について → <http://manabi-mirai.mext.go.jp/>



# 板橋区立成増小学校

## 成増小学校PTA

PTAでは、各組織の活動を通じて児童が楽しく安全に成長して行ける環境作りを推進しております。

- ★PTA本部役員 ★各学年・学級委員
- ★広報部 ★ベルマーク部 ★文化部
- ★保険厚生部 ★海外生活地区委員
- ★卒業対策委員 ★各サークル部

協力

## PTA活動支援

PTA行事等の活動を従前からサポートしています。また、PTA活動関連のボランティア養成講座を実施しています。

## 成増小学校支援地域本部

### 地域コーディネータ

- ボランティアの方々
- ・地域の方
  - ・大学生
  - ・保護者
  - ・地元企業 等

協力

## いきいき寺子屋

現在月1・2回土曜日に成増小学校の施設を利用して、地域の方や保護者のボランティアにより、子どもたちの興味や関心に合わせた遊びやスポーツ等様々な取組みを展開しています。

- ★書写 ★玉子 将棋 ★園芸
- ★武術 ★バレーボール ★民謡
- ★ユニホック ★手芸 ★フラダンス
- ★ペーゴマ ★スポーツ

## ICT支援

小学校のホームページの更新作業や、学校から保護者へのメール等での情報配信等、ICT関連のサポートを行っています。

## 寺子屋事業支援

寺子屋事業の、ボランティア支援及び事務局業務の支援を行っています。ボランティアとの交流を多くすることができ、寺子屋事業を支援することにより、学校支援としての情報収集にも役立っています。

## レインボー図書館

放課後に学校図書館を「レインボー図書館」として開放しています。「レインボー図書館」の名前は子どもたちが意見を出し合い、そして投票で決められました。

現在はほぼ毎週水曜日に開催しています。

開催時には読書はもちろん、宿題をする子どもたちも多くいます。読書時以外にも新刊の設置、本の整理や整理等のサポートも行っています。

また「読み聞かせ講座」等を保護者や地域の方を対象に行ったり、学校内で「ビデオ上映会」や「お楽しみ会」を催す等、様々な非課税活動を一層推進実施しています。



## 学習支援「赤ベン教室」

大学生や地域住民が指導者となり、学習会「赤ベン教室」を毎週水曜日に開催しています。

区教育委員会が作成したフィードバック教材を使用した教室では、現在、算数と国語の振り返り学習とドリルを2時間程度おこなっています。また5・6年生対象に漢字検定受験向けの学習会を実施しています。

これにより、子どもたちの基礎学習の向上と、家庭学習の習慣化を図っていきます。



## ■フィードバック学習方式

児童一人ひとりの学習状況について「何が」「どの程度」達成できているかを的確に把握して、指導者が効果的に助言し、地域や家庭と連携して、わからないところをわからないままにしない取り組みです。

つまづき箇所に応じて復習するフィードバック教材を活用して、確かな学力を定着する取り組みです。



## グリーンボランティア

学校と地域の境である生垣等を整備し、美しい町づくりに貢献するとともに、授業で利用する植木販売の場を整備しています。

■生垣の剪定  
造園のプロをお呼びして、剪定の方法や時期など様々なポイントを教えていただきながら行っています。



■花壇づくり  
授業でも利用できるように花壇の整備を行っています。



## 授業支援ボランティア

子どもたちの学習の理解を深めるために、直接、学習指導を行います。地域コーディネータが持っている情報を手始め提供を行い、その情報を基に学校からの依頼を受けて、授業を行います。

■南無観音池による「市控講座」  
6年生を対象に気象庁所屬の南無観音池による、南極の気象や動物、暮らし等を写真や動画を交えての授業を行いました。

■防災教育  
気仙沼市教育委員会の方を招いて、実体験を交えての地震・津波に関する授業を行いました。

■書写の導入指導  
寺子屋事業でもお世話になっている書写の先生を2名招いて、3年生の書写の導入指導を行いました。



## ボランティア養成講座の開催

学校支援ボランティアの資質向上のための研修機会として、ボランティア養成講座を実施しています。

### ■今までの講座内容

- ・「子どもとうまく関わるには」
- ・「障害のある子の理解」
- ・「カウンセリングの基礎」
- ・「ロールプレイングの実際」
- ・「図書館ボランティア養成」講座
- ・「地域安全マップ作り」講座
- ・「障壁のはらうた」
- ・「ユネスコスクールセミナー2011「学校と地域で育てる地域の子ども」
- ・「こどもからのSOS  
～それを誰がどうと受け止めるか～」
- ・「ユネスコスクールセミナー2012「学校と地域で育てる地域の子ども  
～311以降の特別困難な地域と学校のつくり～」



(平成23年度から開始)

～応援します！！教育CSRに取り組む企業を！！～

教育CSRに取り組む企業等と千葉県教育委員会が連携し、子供の健やかな成長を支援する。

## <教育委員会>

- \* ホームページを通じて企業等の取組を周知
- \* 企業等の職場研修等における講師等の相談

登録

支援

## <企業等>

### 【従業員への家庭教育支援】

- ・ 「早寝・早起き・朝ごはん運動」推進
- ・ 「子供参観日」 等



### 【学校への貢献】

- ・ 職場体験の受入
- ・ キャリア教育 等

### 【地域への貢献】

- ・ 企業の施設や技術力を生かした講座の企画、運営
- ・ 公民館等が実施する地域行事への参加、協力 等

※登録企業等：371  
(平成25年11月25日現在)

企業が賛同することにより、家庭・学校・地域が一体となって  
子供たちを育てる環境作りを推進



- 「教育支援プラットフォーム」:「地域ぐるみで子供を育てる社会」の実現を目指し、地域住民・企業・NPO・各種団体等の協力を得ながら、学校・家庭・地域において充実した教育活動が展開されるよう支援する仕組み
- 「我が社は学校教育サポーター」:学校や地域と連携し、職業に関する知識、技能及び経験を生かし、子供たちのキャリア教育・学習活動をサポートする企業・NPO等のプログラムバンク

(青森県教育委員会HPより)

【「我が社は学校教育サポーター」登録までの流れ】

- ①プラットフォーム事務局が企業等を訪問をし、事業主旨を説明
- ②事業に賛同した企業等について、教育委員会のHPに紹介

【活動までの流れ】

- ③学校がプラットフォーム事務局に派遣等の希望の連絡
- ④プラットフォーム事務局が企業等と調整し、結果を学校に連絡
- ⑤企業等が対応可能であれば、学校から企業等に正式な依頼
- ⑥事前の打合せ等を行った後、教育支援活動の実施

【活動の実施後】

- ⑦学校は「活動報告書」をプラットフォーム事務局に提出
- ⑧教育委員会はHPに活動内容を掲載。今後の取組方法等について検討

☆過去に行われた取組☆ (一例)

- ☆パティシエを希望する生徒のために青森県の銘菓を作成している洋菓子店での職場体験
- ☆子供たちの希望に応じ、サポーター数社が学校で「生きること・働くこと」について考えさせる出前授業



← 賛同企業のHP等に活用してもらうバナー



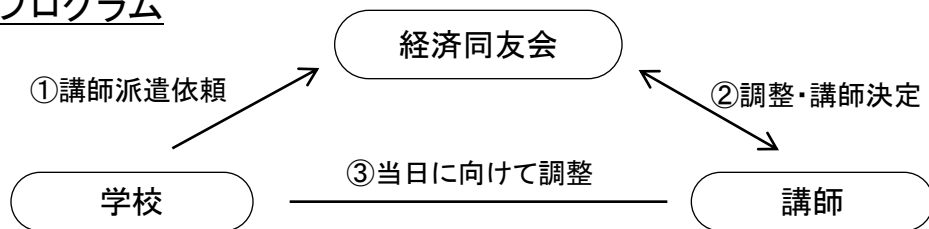
# 公益社団法人経済同友会における出張授業について

## 学校と経営者の交流活動について

(経済同友会のHP等より)

- 杉江和男(DIC株式会社取締役会長)を委員長として、「学校と経営者の交流活動推進委員会を設置。
- 交流活動の実践を通じて、さまざまな課題を抱えるわが国の学校教育の改革推進に寄与することを目的とし、下記の内容を実施。
  1. 生徒への「出張授業」(講師として授業に参加)
  2. 先生方の研修会・勉強会やPTA会合等での講演
  3. 先生方・PTAの方々との意見交換・懇談会
- 会員である企業経営者を原則無償でゲスト講師として学校現場等に派遣し、都内を中心に年間115件、延べ288名(平成24年度実績)の講師による出張授業や講演活動を実施。

## ゲスト講師派遣プログラム



- このほか、企業では小・中・高校生および教員に職場体験や社会見学の機会を提供。

(参考)

### ◆開催事例

#### ○田園調布学園

日時:平成23年6月18日(土曜日)

対象:中学2年生～高校3年生

講師:杉江和男(DIC株式会社取締役社長執行役員)

講演テーマ:働くことについて



# 認定特定非営利法人「おやじ日本」について

(おやじ日本のHP等より)

◆創 立:平成16年6月27日

\*「おやじ日本全国大会及び東京全都大会」において、おやじ日本設立宣言。  
(参加者500名)「総監督」に星野仙一氏と野村萬斎氏就任。

◆理事長:竹花 豊 (東京都教育委員、元パナソニック常務役員、元東京都副知事、元警察庁局長、)

◆活動方針:

1. 「おやじ日本」は子供と地域と向かい合おうとする父親を応援する。
2. 子供や地域のことについて、父親が学ぶ機会を提供する。
3. 全国の「おやじの会」の情報交換と交流を支援する。
4. 地域でいきいきと生きる「おやじ」集団づくりを目指す。
5. 地域に向けて「おやじ」として提言する。
6. これらの目的を実現するために、ホームページ等による情報交換を行い、年一回の全国大会を開催する。

◆主な活動:

- ・企業による出前授業など、学校と企業との連携システム支援推進事業として「未来教室」事業を23年9月から実施(25年11月までに50回実施)
- ・このほか、「83運動」(子供が登下校する午前8時と午後3時に大人が見守る運動。)や「is運動」(携帯やインターネットの新たな危機から子供たちを守り、子供の被害を未然に防ぐための各種活動)、「防災教室」等、子供の健全育成の資する各種活動を展開。

(参考) 第44回未来教室

日時:平成25年10月5日(土曜日)

場所:杉並区立井荻小学校(杉並区善福寺1-10-19)

テーマ:「3Dって?」

対象:1～6年生(46名)

協力企業:(株)NHKメディアテクノロジー



## **(2)土曜日ならではの特有なプログラムの在り方**

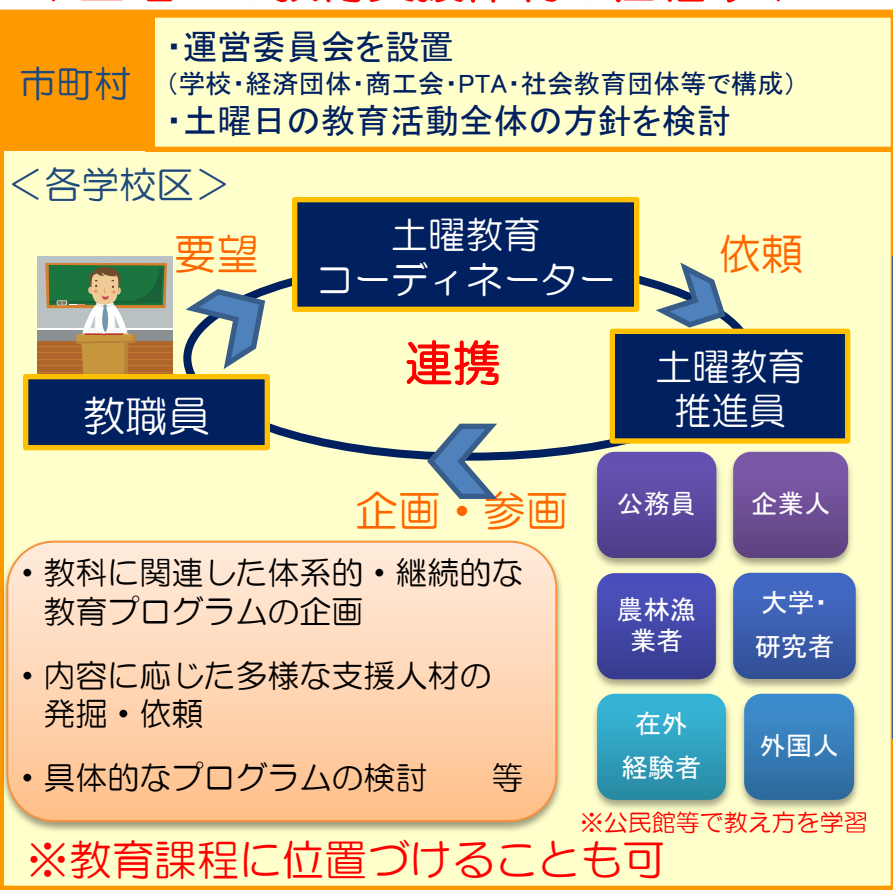
# 地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業

平成26年度予定額: 13億円(新規) <生涯学習政策局社会教育課>  
 [うち新しい日本のための優先課題推進枠: 13億円]

全ての子供たちの土曜日の教育活動の充実のため、地域の多様な経験や技能を持つ人材・企業等の協力により、土曜日に体系的・継続的な教育プログラムを企画・実施する取組を支援し、教育支援体制等の構築を図る。

◆地域の多様な経験や技能を持つ人材をコーディネートし、土曜日ならではの生きたプログラムを実現！

## ◆土曜日の教育支援体制の仕組み◆



## 社会を生き抜く力を培う 土曜日ならではのプログラムの実践

～実践例～

★算数・数学  
エンジニアによる  
使える算数・数学講座



★理科:  
研究者による科学実験教室 <教員とのTTによる数学>

★社会  
公務員による生きた政治経済学習

★外国語:  
在外経験者による英会話



★総合学習  
企業との協働による商品  
開発・キャリア教育

<市民講師による英会話>

教育支援活動の実施

全ての子供たちの土曜日の教育支援体制等の構築

# <参考>大分県豊後高田市の取組事例①

## 「学びの21世紀塾」～「学びの姿」の構築を図る～

市民講師を中心にした講座等により、確かな学力の定着や体づくりの機会を提供し、地方の子供にも平等に学習を保障して格差をなくす

知

確かな学力

### ①いきいき土曜日事業

【寺子屋講座】第1・3・5土曜日に、幼・小・中の英会話・国語・算数・数学・英語・そろばん・合唱等

【パソコン講座】第1・3・5土曜日に、小学生対象のパソコン実習講座

【水曜日講座】毎週水曜日放課後に、全中学校1・2年生に数学・英語

【夏季・冬季特別講座】中学3年生に英語・数学・国語（7日間）

【幼稚園文字・英会話教室】週2日、幼稚園への出前授業

【寺子屋昭和館・プラチナ館】小学校4～6年生に放課後補充学習

【テレビ寺子屋講座】ケーブルテレビを活用した小・中学生対象番組の放映



徳

豊かな心

### ②わくわく体験活動事業

【週末子供育成活動】第2・4土曜日に、日頃できないようなものづくりや体験活動

【ステップアップスクール】3泊4日の集団生活・自主活動等の宿泊体験

体

健やかな体

### ③のびのび放課後活動事業

【スポーツ少年団等の活動推進】各種大会・活動の支援や後援

【文化活動団体等の活動推進】発表会・展示会等の支援や後援

県内学力テストワースト2位 ⇒ 8年連続1位  
野球やバレーボールの全国大会出場

(大分県豊後高田市作成資料参考)



# <参考>大分県豊後高田市の取組事例②

## 「学びの21世紀塾」開塾の動機

完全学校週5日制の実施に伴い、行政の責任として何かできないかという視点(導入前のアンケートから、約40%の保護者が「学力低下が不安」と回答したこと等を踏まえ)、「教育のまちづくり」の視点から開塾。平成25年度豊後高田市教育指導指針の重点課題として“学びの21世紀塾を主軸に据えた地域の教育力を活用した取組の遂行”を掲げ、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体力の向上」を図り、未来を拓く子供の育成を目指す。

## 事業規模

実施学校数：小学校10校、小中一貫校1校

※平成24年度実績

①いきいき土曜日事業（750万円）※別途テレビ寺子屋講座制作：H23、H24の2か年で770万円）

講座		対象	講座数	教室数	塾生数(登録者数)	講師数	会場運営等のボランティア数
寺子屋講座	英会話教室	5歳児 小1～6	3	7	135	8	207
	そろばん教室	小1～3	1	3	61	2	
	土曜日講座(国・数・英)	中1～3	7	14	288	24	
	合唱団	小1～中3	1	1	40	3	
	パソコン教室	小1～6	6	13	222	9	
水曜日講座(数・英)		中1～中2	6	12	189	12	-
夏季・冬季特別講座(国・数・英)		中3	6	18	350	18	-
放課後寺子屋		小4～6	3	3	86	5	-
テレビ寺子屋講座 ※ (英会話・国・数・英・理・社)		小1～中3	22	-	597*活用数	-	-
合計			33	71	1,371	81	207

②わくわく体験活動事業（200万円）

週末子供育成活動	ステップアップ・スクール
会場：11か所(10公民館、1小学校) 開催回数：156回、参加者数：のべ3194人 指導者数(講師数)：93人 ボランティア数：31人、 安全管理員数：17人、協力団体数：15団体	3泊4日の集団生活・ 自主活動の体験活動  場所：香々地青少年の家

③のびのび放課後活動事業（50万円）

登録団体：30団体 競技：15競技 塾生数(登録者数)：575人 指導者数(講師数)：103人
--

## 成果の検証

豊後高田市学力向上戦略支援事業(※)において、「学びの21世紀塾」の取組を通して得られた学力向上施策の成果や課題をもとに各種委員会や会議等で審議し、成果を検証し、学力向上推進計画に反映。(※児童生徒の学力・学習状況や、客観的な数値目標を含む推進計画を地域や保護者に公表し、学校・家庭・地域の連携による学力向上の取組を行うもの)

## 地域の協力体制

平成24年度実績で講師として277名、会場運営等のボランティアとして238名が参加。講師も市民(在外経験のある主婦、塾講師、社長等)、元校長、現職教員、市役所職員など多様な住民による積極的な協力が得られている。

# 放課後子供教室を活用した土曜日の多様なプログラムの事例

大和高田市土曜塾（奈良県大和高田市） ※国庫補助

活動の区分			
学校支援 地域本部	放課後 子供教室	コミュニティ・ スクール	その他
—	○	—	—

## 取組の概要

- 公民館を中心に土・日曜日の子供の居場所づくりを実施。
- その中で、学習支援、自然体験、伝統文化、地域の行事への参加等、多様な取組を実施。
- 参加する子供が市内全域に広がり、保護者同士の交流する場も増加。
- 地域の祭りに参加することで、積極的に地域の活性化に貢献。



漢字検定対策



陶芸教室



桜華殿前絵画教室



いちご狩り



もちつき大会



高田おかげ祭り

## 特徴

- ★校区を越えた子供・親・地域の人々と関わりにより、様々な価値観に触れ、子供の学習に対する意欲が上昇。
- ★野外活動での自然体験が、親子のコミュニケーションをより活発にし、子供の体験活動の幅が拡大。
- ★祭りや餅つき等の行事を通じて、市民としての共通意識が高まり、達成感と共に協働の必要性を認識。
- ★伝統文化に親しみ、小・中学生が主役になる場面を設定し、コミュニティ活性化の中心へと変化。

## 事業を実施して

- (子供の声)「家でできないこと、小学校ではできない体験が、たくさん体験できた。土曜塾は楽しいよ。」
- (保護者の声)「大和高田市のいろいろな学校の子供と触れ合うことができ、『また、土曜塾で会おうね!』と心待ちにしている。土曜塾での体験は素晴らしいもので、親子のコミュニケーションが活発になった。」

# ～学校支援地域本部を活用した中学生向けの土曜日の教育活動～ (大阪府池田市)

## 〈池田中学校区MTP (マイタウンプロジェクト)〉

池田中学校HPを参考に  
文科省にて作成

「池田中学校区MTP」とは、①社会、②文化、③学力といった分野で、学校行事、職場体験、学習サポート、クラブ活動など子供たちに関わるあらゆるサポートを行う組織。

スタッフ登録は約300名(平成23年度実績)。DJ(土曜授業)や「よのなか」科の授業などを中心に実施。

### 取組の概要

教員を中心として、保護者や大学生など地域の方がAT(アシスタントティーチャー)として参加し実施

#### 【DJB】(土曜授業(\*)ベーシック)

- ・中学1年生を対象する、小学校の算数の基本的な内容  
(小学校3.4年生を中心に6年生までの算数)(1学期に実施)

#### 【従来型DJ】(従来型土曜授業(\*)

- ・全学年を対象とした理科の実験教室や数学、社会の補習授業
- ・前半30分が学校の先生による補習授業、残りの60分はプリント学習を実施  
(実施の内容を事前に生徒に周知し、希望する生徒が自由に参加する)

#### 【ジョイントDJ】(ジョイント土曜授業(\*)

- ・中学3年生を対象とした受験対策(3学期に実施)



小学校算数に取り組む  
1年生とMTPスタッフ

### 池田市立 MTP 池田中学校 マイタウン・プロジェクト 2008年度 構成図





# 団体との連携による学力向上のための土曜日の学習機会の提供例

～土曜日に児童・生徒のための学習の場を開設！  
学習機会の拡充を図る～

大阪府大東市（市単独事業）

## 取組の概要

- 平成22年度から学力の向上と自学自習力を高めることを目的に、大東市独自の事業として開始
- 実施については公益社団法人全国学習塾協会に委託。同協会より派遣される塾講師が指導および年間カリキュラム作成を担当
- 青少年教育センター（市内2か所）および市民会館の計3か所で開設
- 毎週土曜日実施（平成25年度 44回実施予定）



【小学生クラスの授業風景】

## 取組内容

### 【小学4・5・6年生ゼミ】

- ・対象 ... 市内公立小学校（12校）に通う4, 5, 6年生児童（※学年ごとに実施）
- ・実施時間 ... 1コマ（50分）
- ・科目 ... 算数
- ・受講料 ... 1, 000円/月
- ・教材費 ... 1, 100円/年間

### 【中学生ゼミ】

- ・対象 ... 市内公立中学校（8校）に通う1, 2, 3年生生徒（※学年ごとに実施）
- ・実施時間 ... 2コマ（50分×2コマ）
- ・科目 ... 数学、英語
- ・受講料 ... 2, 000円/月
- ・教材費 ... 2, 200円/年間

※ 受講生が生活保護法の規定による生活扶助および就学援助制度を受けている場合は、受講料を免除

## 実施の状況（平成25年度 申し込み状況）

○ 小学4～6年生・・・206名  
（大東市の小学生 5. 8%）

○ 中学1～3年生・・・144名  
（大東市の中学生 4. 1%）

# 参考：企業と連携した多様な教育プログラム (キャリア教育プログラム開発推進コンソーシアムの事例)

## ◆キャリア教育プログラム開発推進コンソーシアムの取組

次世代育成(教育CSR)に真摯に取り組む企業や団体と連携し、学校現場に活用できる教育プログラムを協同で普及させることで教育現場を支援することを目的とする。教科書だけでは実現できない、実社会とつながりのある様々なテーマ(環境・経済・食育・福祉など)を持つ企業のノウハウを生かしたプログラムを通して、子供たちに発見や感動のある教育プログラムを学校現場(教育委員会・学校)提供。

## ◆教育プログラム

### 会員企業

### 協賛企業

<p><b>インテル株式会社</b></p> <p>児童・生徒が自ら考える力を育てる "思考支援型"授業実現 のための研修プログラム</p> <p>テーマ 思考支援型授業の実現</p>	<p><b>花王株式会社</b></p> <p>花王教育支援プログラム (出張授業編)</p> <p>テーマ 家事/清潔/環境</p>	<p><b>花王株式会社</b></p> <p>花王教育支援プログラム (教材提供・工場見学編)</p> <p>テーマ 環境/モノづくり</p>	<p><b>独立行政法人科学技術振興機構(JST)</b></p> <p>科学的思考力・活用力を 育成するための 教員研修プログラム</p> <p>テーマ 理科教育</p>	<p><b>一般社団法人全国銀行協会</b></p> <p>「あなたと銀行のかかわり」 プログラム</p> <p>テーマ 金融のしくみ</p>	<p><b>ダイキン工業株式会社</b></p> <p>思考支援型 環境教育プログラム 「サークル・オブ・ライフ」</p> <p>テーマ 環境(生物多様性)(森林問題)</p>	<p><b>一般社団法人日本電機工業会(JEMA)</b></p> <p>JEMAプログラム</p> <p>テーマ 電気の利用</p>
<p><b>積水ハウス株式会社</b></p> <p>緑の専門家と一緒に、緑と生き物の 関わりについて考える "Dr. フォレストの 環境教育プログラム"</p> <p>テーマ 環境(生物多様性)</p>	<p><b>カゴメ株式会社</b></p> <p>食育支援活動 「カゴメ りりこわくわくプログラム」</p> <p>テーマ 栽培/食育</p>	<p><b>カルビー株式会社</b></p> <p>「おやつ」を通じて 「正しい食習慣」を考える スナックスクール</p> <p>テーマ 食育</p>	<p><b>キッズ・チャレンジプロジェクト事務局</b></p> <p>キッズ・チャレンジプロジェクト 【環境編】</p> <p>テーマ 環境(持続可能な社会)</p>	<p><b>株式会社ダスキン</b></p> <p>学校教育支援活動</p> <p>テーマ 学校掃除</p>	<p><b>東レ株式会社</b></p> <p>「水のろ過と地球環境」を 考えるプログラム</p> <p>テーマ 理科実験 環境</p>	<p><b>ロート製薬株式会社</b></p> <p>薬育プログラム</p> <p>テーマ 医薬品の正しい使用/健康</p>
<p><b>KDDI株式会社</b></p> <p>KDDIケータイ教室</p> <p>テーマ 情報リテラシー</p>	<p><b>サントリーホールディングス株式会社</b></p> <p>サントリー次世代環境教育 「水育」</p> <p>テーマ 環境(森林・水)</p>	<p><b>積水化学工業株式会社</b></p> <p>「住宅」と「化学」をテーマにした 教育支援プログラム</p> <p>テーマ 住まいと環境 化学</p>	<p><b>公益社団法人日本プロサッカーリーグ (Jリーグ)</b></p> <p>「キャリア・デザイン・ サポートプログラム」</p> <p>テーマ キャリアデザイン/倫理観</p>	<p><b>野村グループ</b></p> <p>“社会で必要な力について考える” 教員研修セミナー</p> <p>テーマ キャリア/金融・経済</p>		
<p><b>パナソニック株式会社</b></p> <p>パナソニック 教育支援プログラム (教材提供版)</p> <p>テーマ 環境/エネルギー 職業観/キャリア</p>	<p><b>東日本旅客鉄道株式会社</b></p> <p>「鉄道と情報ネットワーク の秘密を探れ!」</p> <p>テーマ 情報ネットワーク/環境/キャリア</p>	<p><b>フェミナクラブ生活意識研究会</b></p> <p>現代社会の課題を探求し、 未来を考えよう</p> <p>テーマ キャリア/持続可能な社会(エネ&amp;キ)</p>	<p><b>パナソニック株式会社</b></p> <p>パナソニック 教育支援プログラム (出前出張版・教材提供版)</p> <p>テーマ 環境/モノづくり/キャリア</p>	<p><b>大日本住友製薬株式会社</b></p> <p>次世代育成支援プログラム</p> <p>テーマ モノづくり 生命倫理</p>		

